

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月13日
【四半期会計期間】	第74期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	住友精密工業株式会社
【英訳名】	Sumitomo Precision Products Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員 高橋 秀彰
【本店の所在の場所】	兵庫県尼崎市扶桑町1番10号
【電話番号】	大阪(06)6489 - 5816
【事務連絡者氏名】	執行役員 石丸 正吾
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区大手町一丁目3番2号
【電話番号】	東京(03)3217 - 2810（代表）
【事務連絡者氏名】	総務人事部 東京業務グループ長 大塚 博通
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第73期 第2四半期連結 累計期間	第74期 第2四半期連結 累計期間	第73期
会計期間	自2018年 4月1日 至2018年 9月30日	自2019年 4月1日 至2019年 9月30日	自2018年 4月1日 至2019年 3月31日
売上高 (百万円)	20,686	24,935	48,990
経常利益 (百万円)	934	2,100	2,687
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失 (百万円)	448	1,352	2,252
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	341	1,145	3,148
純資産額 (百万円)	33,856	31,210	30,234
総資産額 (百万円)	77,672	79,316	81,345
1株当たり四半期純利益又は1株当たり当期純損失 (円)	84.82	255.58	425.57
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	42.1	37.9	35.7
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	2,375	1,379	3,656
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	338	661	763
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	1,946	833	3,346
現金及び現金同等物の四半期末 (期末) 残高 (百万円)	10,702	9,918	10,091

回次	第73期 第2四半期連結 会計期間	第74期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自2018年 7月1日 至2018年 9月30日	自2019年 7月1日 至2019年 9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	37.63	98.45

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第73期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第73期第2四半期連結累計期間及び第74期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5. 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、輸出を中心として弱さが見受けられますものの、企業収益や雇用・所得環境の改善により緩やかながらも回復基調が続いております。一方、通商問題の動向や地政学リスクなどによる海外経済への懸念等が見受けられ、また、消費増税後の消費の低迷や家計の節約志向の高まりへの懸念もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況下で推移しております。

このような環境下にありまして、当社グループは一体となりまして各分野の受注確保と拡販に努めるとともに、新製品の開発と用途拡大に取り組んでまいりました結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比20.5%増加し、24,935百万円となり、損益につきましては、営業損益は2,288百万円（前年同期比246.8%増）、経常損益は2,100百万円（前年同期比124.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純損益は1,352百万円（前年同期比201.3%増）となっております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

航空宇宙関連事業

売上高は前年同期比12.3%増加し、14,792百万円となり、営業損益は1,382百万円の利益となりました（前年同期比281.4%増）。

熱エネルギー・環境関連事業

売上高は前年同期比23.3%増加し、4,552百万円となりましたものの、営業損益は334百万円の利益となりました（前年同期は181百万円の損失）。

I C T関連事業

売上高は前年同期比46.0%増加し、5,591百万円となり、営業損益は571百万円の利益となりました（前年同期比19.4%増）。

(2) 財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前期末と比べ2,029百万円減少し、79,316百万円となりました。また、負債合計は、前期末に比べ3,004百万円減少し、48,106百万円となりました。なお、純資産は31,210百万円となり、自己資本比率は前期末に比べ2.2ポイント好転し、37.9%となっております。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に対し173百万円減少し、9,918百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各活動区分別の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の回収が進みましたことなどにより、1,379百万円の資金増加となりました。(前年同期は2,375百万円の資金増加)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローについては、有形固定資産の取得による支出を中心に、661百万円の資金減少となりました。(前年同期は338百万円の資金減少)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済を中心に、833百万円の資金減少となりました。(前年同期は1,946百万円の資金減少)

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、470百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見直し

原材料価格上昇への懸念、また海外経済の低迷や為替金融市場の不安定な動向といった不透明な経営環境が続く中、当社グループといたしましては、製造面での諸合理化と受注の拡大並びに新製品新分野の開拓への取組みを継続するとともに、固定費の圧縮にも努め、収益力及び競争力の維持強化を図ってまいります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,316,779	5,316,779	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	5,316,779	5,316,779	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	5,316	-	10,311	-	11,332

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合(%)
住友商事株式会社	東京都千代田区大手町2丁目3番2号	1,462	27.64
日本製鉄株式会社	東京都千代田区丸の内2丁目6番1号	764	14.46
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	225	4.27
住友精密共栄会	兵庫県尼崎市扶桑町1番10号	128	2.42
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	111	2.11
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバン ク、エヌ・エイ東京支店)	PALISADES WEST 6300, BEE CAVE ROAD BUILDING ONE AUSTIN TX 78746 US (東京都新宿区新宿6丁目27番30号)	93	1.77
山本 一廣	神戸市北区	62	1.17
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	61	1.16
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1番2号	54	1.03
山内 正義	千葉県浦安市	52	0.98
計	-	3,012	57.01

(注) 当第2四半期会計期間末における、日本マスタートラスト信託銀行株式会社及び日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の信託業務に係る株式数は、当社として把握することができません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 24,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,272,200	52,722	-
単元未満株式(注)	普通株式 19,679	-	1単元(100株) 未満の株式
発行済株式総数	5,316,779	-	-
総株主の議決権	-	52,722	-

(注) 「単元未満株式」の株式数の欄には、当社保有の自己株式が88株含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) 住友精密工業株式会社	兵庫県尼崎市扶桑町1番 10号	24,900	-	24,900	0.47
計	-	24,900	-	24,900	0.47

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,110	9,936
受取手形及び売掛金	² 18,857	15,987
製品	4,975	4,552
仕掛品	12,591	14,317
原材料及び貯蔵品	8,323	8,351
その他	2,486	2,276
貸倒引当金	12	13
流動資産合計	57,332	55,408
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,128	8,071
その他(純額)	7,457	7,976
有形固定資産合計	15,585	16,047
無形固定資産		
のれん	532	473
その他	945	918
無形固定資産合計	1,478	1,392
投資その他の資産	¹ 6,949	¹ 6,467
固定資産合計	24,013	23,907
資産合計	81,345	79,316
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	² 9,673	6,956
短期借入金	15,246	15,711
1年内返済予定の長期借入金	4,116	3,209
賞与引当金	1,391	1,354
工事損失引当金	84	19
防衛装備品関連損失引当金	5,061	5,061
その他	² 7,616	7,856
流動負債合計	43,190	40,169
固定負債		
長期借入金	6,150	5,730
退職給付に係る負債	1,084	1,113
資産除去債務	136	143
その他	548	949
固定負債合計	7,920	7,936
負債合計	51,110	48,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,311	10,311
資本剰余金	11,332	11,350
利益剰余金	7,883	9,070
自己株式	102	102
株主資本合計	29,425	30,630
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	762	582
為替換算調整勘定	460	558
退職給付に係る調整累計額	661	603
その他の包括利益累計額合計	358	580
非支配株主持分	1,168	1,160
純資産合計	30,234	31,210
負債純資産合計	81,345	79,316

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 9 月30日)
売上高	20,686	24,935
売上原価	15,407	17,658
売上総利益	5,279	7,277
販売費及び一般管理費	4,619	4,988
営業利益	659	2,288
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	15	17
為替差益	256	-
持分法による投資利益	139	184
その他	30	47
営業外収益合計	443	249
営業外費用		
支払利息	110	102
為替差損	-	264
その他	58	70
営業外費用合計	168	437
経常利益	934	2,100
特別損失		
災害による損失	121	-
特別損失合計	121	-
税金等調整前四半期純利益	812	2,100
法人税等	262	694
四半期純利益	549	1,406
非支配株主に帰属する四半期純利益	100	53
親会社株主に帰属する四半期純利益	448	1,352

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	549	1,406
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	580	188
為替換算調整勘定	55	89
退職給付に係る調整額	89	57
持分法適用会社に対する持分相当額	337	40
その他の包括利益合計	208	261
四半期包括利益	341	1,145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	307	1,130
非支配株主に係る四半期包括利益	33	14

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	812	2,100
減価償却費	895	917
のれん償却額	43	41
賞与引当金の増減額 (は減少)	44	35
退職給付に係る負債の増減額 (は減少)	123	111
資産除去債務の増減額 (は減少)	1	6
受取利息及び受取配当金	17	18
支払利息	110	102
災害損失	121	-
為替差損益 (は益)	6	7
持分法による投資損益 (は益)	139	184
売上債権の増減額 (は増加)	4,408	3,428
たな卸資産の増減額 (は増加)	2,773	1,408
仕入債務の増減額 (は減少)	194	2,663
その他の資産の増減額 (は増加)	330	240
その他の負債の増減額 (は減少)	537	1,121
小計	2,952	1,524
利息及び配当金の受取額	292	278
利息の支払額	103	101
災害損失の支払額	31	28
法人税等の還付額	4	75
法人税等の支払額	738	369
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,375	1,379
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	332	643
無形固定資産の取得による支出	35	90
長期貸付金の回収による収入	0	1
その他	28	71
投資活動によるキャッシュ・フロー	338	661
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (は減少)	1,151	564
長期借入れによる収入	-	600
長期借入金の返済による支出	630	1,926
リース債務の返済による支出	31	71
配当金の支払額	132	-
その他	1	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,946	833
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	57
現金及び現金同等物の増減額 (は減少)	102	173
現金及び現金同等物の期首残高	10,599	10,091
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,702	9,918

【注記事項】

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より一部の海外子会社においてIFRS16号「リース」を適用しております。これにより、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することといたしました。当該会計基準の適用にあたり、当社グループは経過措置として認められている累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結貸借対照表において有形固定資産の「その他」が427百万円、流動負債の「その他」が170百万円、固定負債の「その他」が419百万円それぞれ増加しております。なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
投資その他の資産	22百万円	22百万円

2 期末日満期手形

期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日は金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が前連結会計年度末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形	4百万円	-百万円
支払手形	741	-
設備関係支払手形(流動負債-その他)	4	-

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
従業員給料手当	1,410百万円	1,324百万円
研究開発費	515百万円	470百万円
賞与引当金繰入額	395百万円	423百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
現金及び預金勘定	10,720百万円	9,936百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	18百万円	18百万円
現金及び現金同等物	10,702百万円	9,918百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

配当に関する事項

(1)配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月27日 定時株主総会	普通株式	132	2.5	2018年3月31日	2018年6月28日	利益剰余金

(2)基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年10月31日 取締役会	普通株式	132	2.5	2018年9月30日	2018年12月3日	利益剰余金

(注) 2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。「1株当たり配当額」につきましては、当該株式併合前の金額を記載しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	航空宇宙 関連事業	熱エネルギー・ 環境関連事業	I C T 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,166	3,690	3,828	20,686	-	20,686
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	13,166	3,690	3,828	20,686	-	20,686
セグメント利益又は セグメント損失() (営業 利益)	362	181	478	659	-	659

(注) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	航空宇宙 関連事業	熱エネルギー・ 環境関連事業	I C T 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,792	4,552	5,591	24,935	-	24,935
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	14,792	4,552	5,591	24,935	-	24,935
セグメント利益(営 業利益)	1,382	334	571	2,288	-	2,288

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 9 月30日)
1 株当たり四半期純利益	84円82銭	255円58銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	448	1,352
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	448	1,352
普通株式の期中平均株式数 (千株)	5,292	5,292

(注) 1 . 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 . 当社は、2018年10月 1 日付で普通株式10株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して 1 株当たり四半期純利益及び期中平均株式数を算定しております。

2 【その他】

2019年10月31日開催の取締役会において、2019年 9 月30日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)について、見送ることを決議いたしました。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月 8 日

住友精密工業株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 玉井 照久 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 井尾 武司 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている住友精密工業株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、住友精密工業株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）1．上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2．XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。